

第6回全九州高等学校総合文化祭佐賀大会 放送部門  
第44回九州高校放送コンテストならびに校内放送活動研究集会 佐賀大会

実施要項

1 目的

現代に生きる高校生の豊かな人間性の育成と、未来への展望を持つ人間としての成長をめざし、あわせて、九州地区における校内放送活動の健全な育成と放送教育の推進をはかる。

2 ねらい

- (1) 美しく豊かな日本語を大切にできる心情を育て、あわせて、話す力、表現する力を高める。
- (2) 校内マスコミの送り手としての自覚と創造性を育てる。
- (3) 学校生活の中におけるおいをもたらし、心のふれあいの場をつくる。
- (4) 現代社会における人としてのあり方、生き方を学ぶとともに、放送のはたす役割を考える。
- (5) 九州地区における校内放送活動の向上をはかる場をつくる。

3 主催 九州高等学校文化連盟 佐賀県高等学校文化連盟

4 共催 NHK佐賀放送局

5 主管 九州高等学校文化連盟放送専門部 佐賀県高等学校文化連盟放送専門部

6 部門会場 佐賀市文化会館  
佐賀県佐賀市日の出1丁目21-10  
TEL 0952-32-3000 FAX 0952-

7 事務局 佐賀県高等学校文化連盟放送専門部 嘉村 俊也  
佐賀県立佐賀西高等学校 内  
〒840-0041 佐賀市城内1丁目4番25号  
TEL 0952-24-4331 FAX 0952-25-7041  
Email kamura-shunya@education.saga.jp

8 問い合わせ先 全九州高等学校総合文化祭佐賀大会 放送部門実行委員会 山口 信宏  
〒849-2101 佐賀県杵島郡大町町大字大町2039 (白石高等学校商業科キャンパス内)  
TEL 0952-82-3241 FAX 0952-71-3008  
Email: yamaguchi-nobuhiro-a@education.saga.jp

9 大会日程 令和4年12月9日(金)～11日(日)

	時間	概要	会場 佐賀市文化会館
9 (金)	12:00～13:00	※総合受付	佐賀市文化会館
	13:00～14:40	※総合開会式	佐賀市文化会館
	13:00～16:40	放送部門受付	中ホールホワイエ
	15:30～16:50	運営委員会(開催県・各県代表)	小会議室
	17:00～18:00	審査委員会	大会議室
10 (土)	8:40～9:00	出場受付(アナウンス・ラジオ・テレビ)	中ホールホワイエ
	9:05～9:25	開会行事 (1)開会のことば (2)主催者挨拶 (3)審査員紹介 (4)優勝杯返還・レプリカ授与	大ホール
		諸注意・諸連絡	
	9:40～12:50	アナウンス部門準決勝	大ホール
	9:50～17:00	ラジオ番組部門準決勝	イベントホール
	9:50～17:00	テレビ番組部門準決勝	中ホール
	12:40～12:55	朗読部門出場受付	中ホールホワイエ
	13:20～16:50	朗読部門準決勝	大ホール
17:20～18:00	校内放送活動研究集会①	大ホール	
11 (日)	8:00	決勝進出者・決勝進出作品発表	大会ホームページで発表 開場後、会場入口に掲示・ 各県代表顧問に配付(大会本部)
	9:00～9:20	決勝出場受付(全部門)	中ホールホワイエ
	9:50～10:50	アナウンス部門決勝	大ホール
	9:50～12:00	ラジオ番組部門決勝	イベントホール
	9:50～12:00	テレビ番組部門決勝	中ホール
	11:00～12:10	朗読部門決勝	大ホール
	12:20～12:50	講評(校内放送活動研究集会②)	大ホール
13:00～13:40	閉会行事 (1)成績発表・表彰 (2)主催者挨拶 (3)次期開催県挨拶(大分県) (4)閉会のことば	大ホール	
	諸連絡		
	各種配付(表彰状・講評用紙)	総合受付(中ホールホワイエ)	

10 コンテスト実施部門・エントリー数・決勝進出数

部門	エントリー数	決勝進出数
アナウンス	72名(各県8名 ただし、福岡県・開催県は12名)	20名程度
朗読	72名(各県8名 ただし、福岡県・開催県は12名)	20名程度
ラジオ番組	40作品(各県5作品)	10作品
テレビ番組	40作品(各県5作品)	10作品

## 11 表彰

	アナウンス	朗読	ラジオ番組	テレビ番組
優勝	1名	1名	1作品	1作品
	優勝杯・賞状			
準優勝	1名	1名	1作品	1作品
	トロフィー・賞状			
第3位	1名	1名	1作品	1作品
	トロフィー・賞状			
優良賞	各部門決勝進出者17名程度		各部門決勝進出7作品	
	賞状			
奨励賞			各部門5作品	
			賞状	
入賞 (全参加者)	全エントリー			
	賞状			

## 12 校内放送活動研究集会

各部門についての講評及び研修と九州各県高校放送部活動の報告などを実施し、文化交流を深める。

## 13 参加資格

- (1) 開催年の12月現在、九州各県高等学校文化連盟加盟校に在学する生徒（ただし高等学校最終学年及びそれに該当する学年を除く）。また、以上の生徒が制作した作品に限る。
- (2) 各部門への参加は、各県高等学校文化連盟放送専門部の推薦によるものとする。
- (3) アナウンス・朗読部門への参加は、1名1部門とする。
- (4) 番組部門への参加は、1校1作品とする。ただし各県大会については、その限りではない。
- (5) 他のコンテストに出品した作品は、本大会に参加できない。また、本大会に出品した作品を、他のコンテスト等へ出品することは認めない。

## 14 各部門の課題・参加規定

### (1) アナウンス部門

- ① 自校のニュースや解説など、高校生活を語る若者の声を内容とし、原稿は自作したものに限る。
- ② エントリー番号・氏名を含め、1分10秒以上、1分30秒以内でアナウンスする。  
\*学校名は読まず、エントリー番号に続けて、発表者の氏名を読む。

### ③ 審査基準

(A) 校内放送に使用できる内容であること

(B) 審査の視点

#### ◆内容

- (ア) 素材の選び方は適当であるか。
- (イ) 文章表現は適当であるか。

#### ◆アナウンスの技術

- (ア) 自然な発声で、ニュースが聞き手に伝わるようにアナウンスしているか。
  - ・発声・発音・マイクの使い方
  - ・歌い上げ・作り声など、不自然なアナウンスは高く評価しない。
- (イ) 意味を正しく伝える抑揚表現ができていないか。
  - ・内容把握・プロミネンス・アクセント・イントネーション
- (ウ) 間（ポーズ）は適切か。
  - ・テンポ・ポーズ

(C) 100点法で総合的に採点する。

## (2) 朗読部門

① 次の指定課題 4 作品から 1 作品を選び、朗読する。作品の脚色は一切認めない。

作品番号	1	2	3	4
書名	華の人 有田に生きた薔薇の 貴婦人・敏子の物語	今日のハチミツ、 あしたの私	ヒヨコの蠅叩き	夜間飛行
著者名 (訳者名)	伊藤 緋紗子	寺地 はるな	群 ようこ	サン・テグジュペリ (堀口大學訳)
出版社	小学館文庫	ハルキ文庫	文春文庫	新潮文庫

② エントリー番号・氏名・作者名・作品名を含め、1分30秒以上、2分00秒以内で朗読する。

※ 学校名は読まず、エントリー番号に続けて、発表者の氏名・作者名・作品名を読む。

※ 作品番号1については、「華の人」を作品名として読むこと。

※ 作品番号3については、書名を作品名として読むこと。(短編名を読まない)

※ 作品番号4については、訳者名は読まない。また抽出する作品は「夜間飛行」のみとする。

※ 抽出は文頭から開始し、文末で終了すること。一文途中での開始や終了は「変更したもの」とみなす。

本文中の( )内は省略してはいけない。

### ③ 審査基準

#### (A) 審査の視点

##### ◆ 内容

(ア) 作品の選定は適当であるか。

(イ) 朗読として適切な部分を抽出しているか。

##### ◆ 朗読の技術

(ア) 自然な発声で、場面や心情が聞き手に伝わるように朗読しているか。

・ 発声 ・ 発音 ・ マイクの使い方

・ 演劇調など、過度に演出されているものは高く評価しない。

(イ) 意味を正しく伝える抑揚表現ができているか。

・ 内容把握 ・ プロミネンス ・ アクセント ・ イントネーション

(ウ) 間(ポーズ)は適切か。

・ テンポ ・ ポーズ

(B) 100点法で総合的に採点する。

## (3) アナウンス部門・朗読部門に共通する事項

① 原稿3部を、後述の「15 参加申込/各部門提出物/締切一覧」で指定した期日までに提出する。ただし、原稿は返却しない。

② 規定の用紙(様式1-1、1-2)を使用し、袋とじ(仕上りA5判)とする。第1頁を表紙とし、本文は、第2頁以降に記入する。表紙の部門名上部の○を指定の色で塗りつぶす。アナウンスは「青」、朗読は「赤」とする。

③ 準決勝・決勝ともに、各自の原稿に、大会パンフレット記載の「課題原稿」を加えて発表する。

## (4) ラジオ番組部門

① 作品は、6分30秒以上、7分00秒以内とする。

② 作品の最後に「制作は〇〇高校放送部(委員会)でした」とクレジットコールを入れる。

③ クレジットコールには、BGM・SEなど他の音声が重なってはいけない。

④ 計時は、最初の音からクレジットコールの終わりまでとする。

⑤ 作品は、mp3のデータ形式とする。

⑥ 番組進行表の表紙上部の○枠は「赤」で塗りつぶす。

⑦ 作品データは以下に示す方法を選び、定められた期日までに大会実行委員会に提出する。

(A) Google Drive を用いて作品データを送信

(B) ディスクやUSBメモリなどに作品データを保存・コピーして郵送

⑧ 作品データ・番組進行表は返却しない。(USBメモリは除く)

## (5) テレビ番組部門

- ① 作品は、7分30秒以上、8分00秒以内とする。
- ② アスペクト比は、16:9（ワイド）とする。
- ③ テレビ局等の第三者が撮影した素材を主とする作品は、失格とする。
- ④ 作品の前後5秒間に、規定のテストパターン（様式2）を入れる。テストパターンは、大会ホームページよりダウンロードして使用する。
- ⑤ 計時は、テストパターン（カラーバー）を除いた本編部分について行う。
- ⑥ 作品はMPEG-4/H.264 AVCのデータ形式とする。なお、解像度は1080Pまで、作品データの容量は1GB以内とする。
- ⑦ 番組進行表の表紙上部の○枠は「青」で塗りつぶす。
- ⑧ 作品データは以下に示す方法を選び、定められた期日までに大会実行委員会に提出する。
  - (A) Google Drive を用いて作品データを送信
  - (B) ディスクやUSBメモリなどに作品データを保存・コピーして郵送
- ⑨ 作品データ・番組進行表は返却しない。（USBメモリは除く）

## (6) ラジオ番組部門・テレビ番組部門に共通する事項

- ① 高校生活に素材を求めた作品、あるいは高校生活と地域社会とのかかわりを考えた作品で、高校生の視点で描いた独創的な作品であり、それぞれのメディアの特性を生かした作品とする。ドラマ調の場合、出演者は自校生徒、かつ前述の「13 参加資格」の条件を全て満たす者に限る。
- ② 審査基準
  - (A) 校内放送に使用できる内容であること
  - (B) 審査の視点
    - ◆テーマ（伝えたい内容）

高校生ならではの視点で、高校生を取り巻く環境の中からテーマを設定し、それを番組の中で効果的に表現しているか。
    - ◆制作技術
      - (ア)メディア選択      (イ)制作方法      (ウ)取材の方法や努力      (エ)企画・構成
      - (オ)演出・編集      (カ)音声や効果音の使い方      (キ)内容伝達力      (ク)番組進行表の作成
  - (C) 100点法で総合的に採点する。
- ③ 作品のタイトルは、副題も含めて15文字以内を厳守する。

※作品名が英数字のみの場合は、半角文字で最大30文字（スペース含む）までとする。
- ④ 番組進行表は、後述の「18 様式規定」で作成し、「15 参加申込／各部門提出物／締切一覧」で指定した期日までに1部を提出する。
  - 1頁（様式3-1）学校名・作品名・時間・制作意図（200字程度）・スタッフ／キャスト（学年）
  - 2頁（様式3-2）必要枚数を綴じ合わせたCUEシート
  - 3頁（様式3-3）使用著作物一覧

※必要に応じ、音源使用許諾（様式3-4）・取材許諾・著作物提供許諾（様式3-5）を添付する。  
※必要に応じ、著作権処理確認資料（右上に著作物番号を朱書きする）を添付する。
- ⑤ 作品の中で用いる音楽・絵画・写真等の著作権を伴う著作物については、著作権・著作隣接権の処理を本大会開始までに確実に済ませておく。特に音楽は、自作自演もしくは著作権フリーの楽曲を用いることが望ましい。著作権を伴う著作物については、一覧を番組進行表の末尾に添付する。
- ⑥ いわゆる著作権フリーの音源素材等であっても、インターネット上のものを利用することは厳禁とする。なお、著作権フリー素材とインターネット上の素材の使用については、「校内放送研究 第69回NHK杯全国高校放送コンテストならびに校内放送活動研究集会（以下、NHK杯とする）要項」のp.20で定めたものと同じとする。
- ⑦ JASRACへの手続きと支払いは出場校が行い、関係書類のコピーを番組進行表の末尾に添付する。
- ⑧ 参加作品の著作権は、制作者（応募した学校）に帰属する。
- ⑨ 著作物使用等の許諾に関する詳細については、NHK杯要項のp.17～22の注意事項に準じる。
- ⑩ 様式等については、本大会規定のものを使用する。
- ⑪ 本大会に出品するラジオ番組・テレビ番組の制作意図（番組進行表に記載）は、各県事務局が規定のファイルにまとめて入力し、後述の「15 参加申込／各部門提出物／締切一覧」で指定した期日までに提出する。

⑫ 発表に際しては作品再生前に代表生徒が登壇し、学校名と作品名を紹介する。

### 15 参加申込／各部門提出物／締切一覧

- (1) 参加申込など全ての事前提出は、下表に基づいて行う。
- (2) 参加申込には、別紙のエントリー番号を使用する。番号の割り振りは、各県専門部で行う。
- (3) 参加校顧問…下記の①～⑦を、指定の宛先に提出（データ送信／郵送／振込）する。

	内容・様式	宛先	提出方法		提出締切 (必着)
			データ 送信	郵送	
①	学校参加申込データ*	放送部門実行委員会*	○		11/18 金
②	エントリーデータ	各県放送専門部事務局	○		11/17 木
③	アナウンス・朗読原稿3部／番組進行表1部	各県放送専門部事務局		○	各県指定日
④	番組制作意図データ	各県放送専門部事務局	○		11/18 金
⑤	全部門共通参加申込書（共通様式2）	各県高文連事務局	○		11/11 金
⑥	宿泊・弁当代金納入	業者指定口座		口座振込	業者指定日
⑦	ラジオ・テレビ番組作品データ	放送部門実行委員会*	△*	△*	11/30 水
<b>【備考】</b> *①「学校参加申込」は、出場権獲得校の出場意志の表明／確認等に利用する。 *①・⑦の宛先（放送部門実行委員会）は、1ページの「問い合わせ先」です。 *⑦の提出方法はデータ送信・郵送のどちらかで行う。					

- (4) 各県放送専門部事務局担当者…下記⑧から⑪を指定の宛先に提出（データ送信／郵送）する。

	内容・様式	宛先	提出方法		提出締切 (必着)
			データ 送信	郵送	
⑧	全九州高校総文祭推薦書（共通様式1）*	各県高文連事務局	○		各県指定
⑨	エントリーデータ（〇〇県）	放送部門実行委員会*	○		11/21 月
⑩	番組制作意図データ（〇〇県）	放送部門実行委員会*	○		11/22 火
⑪	アナウンス・朗読原稿／番組進行表（〇〇県）	放送部門実行委員会*		○	11/24 木
<b>【備考】</b> *⑧の提出→各県高文連から出場校に派遣依頼を送付→⑤の提出→開催県高文連が取りまとめるという流れ *⑨⑩⑪の宛先（放送部門実行委員会）は、1ページの「問い合わせ先」です。					

### 16 宿泊等申込について

- (1) 宿泊・弁当の申込みは、佐賀県高等学校文化連盟のホームページ内にある宿泊・弁当申込みのサイトから行ってください。
- (2) 何かお尋ね等がありましたら、下記の取扱業者に連絡してください。

**【取扱業者】** JTB佐賀支店（担当江崎）  
 〒840-0825 佐賀県佐賀市中央本町1-10 ニュー寺元ビル1階 TEL 0952-23-1161  
 営業日 平日 10:00～18:00

## 17 エントリー番号一覧

県名	アナウンス	朗読	ラジオ番組	テレビ番組
福岡	4・10・17・21 26・34・41・45 50・56・64・69	2・11・18・22 28・33・38・46 51・55・66・71	3・9・19 30・38	7・13・20 29・40
大分	5・14・19・30 40・53・59・68	6・10・21・36 44・52・58・67	1・13・20 25・35	5・16・22 27・37
佐賀	3・7・18・22 28・33・38・42 54・58・63・71	1・8・15・24 30・34・41・45 54・59・63・69	5・11・23 29・37	4・12・17 30・35
長崎	1・11・20・29 46・52・61・70	7・14・23・31 43・49・57・65	8・16・21 27・39	2・15・24 28・33
熊本	8・13・27・32 37・47・60・72	5・16・20・29 40・48・56・64	4・10・17 26・33	3・9・21 31・38
宮崎	9・15・25・31 39・48・55・66	3・13・27・35 42・47・60・70	6・12・18 32・36	1・10・19 26・34
鹿児島	6・16・24・36 43・49・62・67	4・12・19・25 37・50・61・68	7・15・22 31・40	8・14・23 32・39
沖縄	2・12・23・35 44・51・57・65	9・17・26・32 39・53・62・72	2・14・24 28・34	6・11・18 25・36

## 18 様式規定

	様式番号	内容
規定1 アナウンス・朗読	1-1	表紙（右頁）・原稿用紙（左頁）
	1-2	アナウンス・朗読部門 原稿用紙
規定2 テレビのみ	2	テストパターン／カラーバー
規定3 ラジオ・テレビ 番組進行表	3-1	表紙（制作意図・スタッフ・キャスト・確認欄）
	3-2	CUEシート
	3-3	使用著作物一覧
	3-4	音源使用許諾申請書（参考様式）
	3-5	取材許諾・著作物提供許諾申請書（参考様式）
*規定3は全てA4サイズ。左上1箇所をホチキスで綴じる。両面印刷不可。		

\*上記の規定様式は、佐賀県高等学校文化連盟ホームページ

<http://sagkoubunren.main.jp/site/> からダウンロードできます。

## 19 新型コロナウイルス感染予防対策

今後の新型コロナウイルス感染症の拡大状況によって、開催内容の変更を行う場合があります。

- (1) 大会期間中はマスクを常時着用し、3密防止、飲食時等にも注意すること。
- (2) こまめな手洗いと手指の消毒を心がけること。
- (3) 大会参加者（入場者全員）は、大会2週間前から検温と体調チェックを行い、健康チェックシートに記録しておくこと。なお、健康チェックシートについては大会終了後1カ月間顧問が保管しておくこと。
- (4) 大会期間中に、発熱等の症状がある場合は、大会に参加することはできません。大会期間中に、発熱等の症状が見られた場合、引率者は速やかに医療機関（別紙）、保護者、各県放送専門委員長へ連絡をしてください。なお各県専門委員長は佐賀県放送専門委員長 山口信宏（090-3602-4878）へ連絡してください。
- (5) 下記①～④の条件に該当する者は、県境を越えた移動ならびに大会参加を控えてください。なお、その際は所属長を通して各県放送専門委員長へ連絡してください。また、連絡を受けた各県放送専門委員長は、佐賀県放送専門委員長 山口信宏（090-3602-4878）へ連絡してください。
  - ① 37.5度以上の発熱。
  - ② 咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽候痛、味覚・嗅覚障害等の症状。
  - ③ 新型コロナ感染症陽性とされた人の濃厚接触者となり、保健所から自宅待機等の要請を受けている。
  - ④ 過去2週間以内に政府から入国制限、入国後観察期間を必要とされている国・地域への訪問歴及び該当在住者との濃厚接触がある